

1 地区別計画とは

概ね連合町内会を単位として目標を立てて、できることから一歩ずつ進めていこう!と、取り組む活動をまとめたものが、「地区別計画」です。

鶴見区は、地理的には臨海部の「海のまち」、丘陵部の「丘のまち」、鶴見川に沿った「川のまち」で構成されています。同じ鶴見区でも地域によってその状況は異なり、地域ごとに特徴があります。

地域には地域ごとに 特徴がある

「山坂が多い」「子どもが多い」
「商店街がある」など

地域ごとに、生活している中で 気になることがある

「新しいマンションが近所に建ったけれど、どのような人が住んでいるのかわからない。」「外出がおっくうになってきた。」

このような「気になること」を、地域の中で顔と顔の見える関係で話し合い、できることから取り組むことで、誰もが安心して健やかに暮らせるまちにつながると考えています。

鶴見区では、日常生活におけるまとまりや関係性を持ちうる範囲として、概ね連合町内会が地域特性を反映する一つの地区単位であると考え、「地区別計画」として、まとめています。

地区別計画は、区全体計画の推進の柱を前提に、各地区での特性を活かし、今後の活動の方向性を明らかにするもので、地域で活動に参加する人にとって、それぞれが活動を行うにあたっての大きな指針となるものです。様々な人や団体、関係機関が、「このまちをより良くして行こう!」といういろいろな活動を行っています。そういった方々が福祉保健のまちづくりについて同じ目標を共有し、協力しあいながら活動を進めることが大切であり、その共通の目標となるのが「地区別計画」です。

2 計画づくりの経過

平成 26 年度から約 2 年間をかけて、各地区で話し合いを開催し、より良い地域づくりに向け、地域の目指す姿や具体的取組を、地区の計画としてまとめました。

計画づくりのスタートとして、地域の方々が日頃生活している中で気になることなどについてアンケートなどによるニーズ調査が、まず進められました。その後、ニーズ調査を踏まえ、地区懇談会等を開催して、次の 5 年間に目指すことや取り組んでいきたいことを議論し、地区の実情に応じた計画となるようまとめられました。



地区独自アンケート



ケアプラザ祭り等の
行事での意見収集



地区懇談会

■第3期地区別計画 各地区のキャッチフレーズ

矢向	市場
誰もが安心して暮らせる矢向のまち	声かけて 笑顔でつながる 市場地区
市場第二	鶴見中央
好きです市場第二 みんなの笑顔が見られる町に	あいさつと声かけでつながる鶴見中央
潮田中央	潮田東部
地域とかかわりやすい「まちづくり」	声かけて 心がつながる 潮田東部
潮見橋	潮田西部
住んでよかった潮見橋 ～人は親切 心が触れ合う～	“まちづくり 絆づくりと健康づくり”
小野町	生麦第一
地域みんなでつながろう	人とひととのつながりを大切に育てます。 ◆地域の文化を伝承することによって、人と人のつながりが生まれます。 ◆人と人がつながれば、安心・安全なまちがつくれます。 ◆安心・安全なまちは、すばらしい仲間がいる、誰もが住みやすいまちです。 それが、生麦第一地区…
生麦第二	豊岡
明るく 楽しく 元気よく! みんな「あいさつ」できるまち	笑顔で元気な町づくり
寺尾	寺尾第二
ふんわりとしたつながりで、このまちの福を育てよう! ★第2期計画では、福を呼び込み、種まきができました ★第3期計画は、その福を皆さんで育てていきましょう これからも みんなが ふんわり ふんわり つながって あたたかで やさしい 寺尾地区が 生まれます	世代を超えて 未来につなごう 地域の輪
駒岡	上末吉
地域みんなでつながるまちづくり	交流を深め、ささえあう、住みよい 上末吉地区を目指して
下末吉	江ヶ崎
さらに住みよい下末吉地区をめざして	支えあう・助けあう町 江ヶ崎